


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

●会長 白石 繁
●幹事 村瀬 直久

 No.1627 平成 30 年 09 月 01 日 第 8 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



インスピレーションになろう

日帰り親睦家族例会 ～世界遺産を巡る!!

天草満喫日帰りの旅～

■点鐘

■国歌斉唱

■「手に手つないで」唱和

■会長の時間 (会長 白石 繁)



今日は、1 日バスに乗って、ドライブを兼ねての 1 日旅行です。安全に楽しい一日になればと思います。ところで皆さんも日ごろ乗用車に乗って、家族ででかけることも多いかと思ひます。我が家では、出かけるときには、私が運転席、家内が助手席にいつも座ります。助手席に座った家内は、交差点に差し掛かると「人が立っています。注意して」とか、「前の車は、「初心者マークが付いています。」とか よく運転のアドバイスをしてくれ安全運転に役立っています。しかし、度が過ぎると「右の路線に変更して」とか、「前の信号は赤に変わった」とか自動車学校の教官のようなことを言い出し、運転している私としては、「ウザイ」と感じることもしばしばです。家内は「助手席」に座っているので運転の助手として、当然のことをしていると思っているのでしょうか。

そもそも、「運転席」の横の座席を「助手席」と呼んでいますが、良く考えると変な言葉ですね。助手が座る席だから助手席というのでしょうか、そもそも何を助手するのでしょうか？ パツと思いつくのは、「昔のクルマは運転するのが大変で、運転手を手助けする人がのっていたのだらう」ということです。

正しいように思えるけど、クルマは発明された当時からひとりでも運転ができたようで必ずしも助手は必要なかったようです。じつは「助手席」という言葉は、日本で生まれたとされています。あまり想像できないかもしれないけど、昭和初期にはけっこうな数のクルマがあり、いわゆるタクシーもそれまでの人力車から「円タク」と呼ばれたクルマにかわっていたそうです。

タクシーに使われた車両は、輸入車もしくは日本国内生産のアメリカ車がほとんどで、当時の日本人にとってはサイズが大きくて、乗り降りするのもひと苦労だったそうです。そこで乗り降りを手伝うために、運転手の横に乗っていたのが「助手」。助手が座るところだから「助手席」となった。どうやらこれが真実のようです。ちなみに助手席は英語にすると、後部座席と同じパッセージシート（搭乗者席）と言うそうで、アシストマンシート（助手席）

と言わないそうです。

「助手席」とは、日本だけで使われている言葉なんですね。今日一日、助手席にいるバスガイドさん助手のほど宜しくお願い致します。



■幹事報告 (幹事 村瀬直久)

1)

次回 9 月 5 日 (水) 例会は、熊本第 3 グループ 熊本東南 RC ・熊本平成 RC ・熊本水前寺公園 RC 合同 高山泰四郎ガバナー公式訪問例会となっております。

会場が、ご案内していた「地階 クリスタルホール」から「2 階 キャッスルホール」に変更となっておりますのでご注意ください。

当日は、受付や案内および準備などがございますので、クラブ管理運営委員会の方はお早めにご参集ください。

食事は 12 時 10 分にガバナーをお迎えしてからの一斉スタートとなっております。

■今後の行事

9 月	9 月 2 日 (土)	広報・青少年奉仕部門合同セミナー	熊本県 熊本市	くまもと県民交流会館パレア	内田信行 前田日出夫 宮川義行
	9 月 8 日 (土)	伝承遊びの集い	熊本県 熊本市	泉ヶ丘校区公民館	案内中
	9 月 8 日 (土)	荒尾 RC 創立 40 周年記念式典・祝賀会	熊本県 荒尾市	ホテルヴェルデ	白石繁、 村瀬直久、 宮川義行、 山田公也
	9 月 29 日 (土)	職業奉仕セミナー	熊本県 熊本市	くまもと県民交流会館パレア	古田哲朗 松本 繁 宮川義行 松岡泰光 杉本整哉 彌富皇皇
10 月	10 月 6 日 (土)	日田 RC 創立 55 周年記念式典	大分県 日田市	昭和学園高等学校、 マリエールオーク パイン日田	小畑成司
	10 月 6 日 (土)	R 財団セミナー	熊本県 宇城市	小川総合文化センター ラポート	白石 繁 村瀬直久 山田公也
	10 月 6 日 (土)・7 日 (日)	ローターアクト年次大会	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル他	(案内予定)
11 月	11 月 4 日 (日)	宇佐八幡 RC 創立 30 周年記念式典	大分県 宇佐市	宇佐神宮参集殿	案内中

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 福井 学)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
08月15日	休会				
09月01日	45 (免3) 42	23			54.76

- ☆退会
- ☆出席免除
- ☆欠席者

今度の100%出席の日は 9月26日です。

■点鐘

編集者 松岡泰光





グローバル補助金 申請のヒント

投稿日: 5月17, 2018

寄稿者: 宮里 唯子

(茨木西ロータリークラブ会員、第2660地区財団委員長)

20150107_LK_055 ロータリー財団の「グローバル補助金」をご存知ですか?どのクラブでも、海外のクラブと協同で申請でき、規模の大きい奉仕プロジェクトや奨学金、職業研修グループを支援できる補助金です。

ただし、グローバル補助金の申請に興味はあっても難しくて...というクラブが多いのも事実です。そのようなクラブに、私たちは以下のように助言しています。

【海外のパートナー（協同提唱者）の見つけ方がわからない】

グローバル補助金では、プロジェクト実施国の役割が非常に重大ですし、相互で密な情報交換などコミュニケーションも大切です。元々交流のあるクラブ（姉妹クラブ）があれば最も望ましいと言えますが、海外に姉妹クラブがない場合、地区内の他クラブから紹介してもらうことを検討してみましょう。また、現地のNGOとつながりがある場合は、このNGOに現地のロータリーを紹介してもらうのも良い方法です。全く交流したことも会ったこともないクラブより、一度でも顔を合わせたクラブの方がコミュニケーションは円滑になります。

【言語力が限られているのでパートナーとのコミュニケーションがうまくできない】

申請書は日本語でも作成できますが、その内容を実施国と援助国のそれぞれ代表提唱クラブが共有する必要がありますので、やはり英語が一番適しています。双方共に英語が苦手という場合は、実施国のクラブが現地語で作成し、プロジェクトの協力団体職員に英訳や和訳を外注するなどの工夫が必要です。定評があり比較的規模の大きいNGOと協力する場合は、現地に日本人職員が駐在していることもあります。

【単年性なので複数年度のプロジェクトがしにくい】

グローバル補助金は大規模な人道的奉仕活動のための補助金ですから、複数年におよぶ場合が多々あります。このような場合、クラブの戦略計画委員会で短期・中期の活動目標としてあらかじめ掲げ、計画的に取り組めば、それほど難しいことはありません。また、申請にかかるすべての書類は一元的に管理し、次年度の会長、国際奉仕委員長に引継ぎをしておきます。




【要件が厳しすぎる】

グローバル補助金の承認の要である「成果の持続可能性」を理解し、申請書や添付書類によって説明さえできれば、要件は決して厳しいものではありません。グローバル補助金では備品を寄贈するだけで、持続のための活動が含まれていないプロジェクトは認められません。活動計画の90%は、成果を持続させるための仕組みづくりと考えてください。たとえ予算計画の90%を寄贈品や提供する物品の価格が占めようと、プロジェクト実施計画の90%はロータリアンや協力団体の活動計画がプロジェクト完了

熊本東南ロータリークラブ様

～世界文化遺産を巡る!!天草満喫日帰りの旅～

【旅行期日】平成30年09月01日(土)

日数	日	時	スケジュール
1	09/01 (土)		熊本ホテルキャッスル【貸切バスにて】 ===  08:00 発
			世界文化遺産登録 三角西港【ご見学・休憩】 ==  09:10 着/09:50 発
			※国指定重要文化財 天草キリシタン館【ご見学】 === 本渡市内【海鮮のご昼食】 11:00 着/11:50 発 12:00 着/13:00 発
			※潜伏キリシタン === 世界文化遺産登録 崎津集落【ご見学】  14:00 着/15:10 発
			藍のおまきさ村【お買物】 === 熊本ホテルキャッスル 17:00 着/17:30 発 18:40 頃着
			※お疲れ様でした! 朝:一 昼:○ 夜:一

後の成果の持続性をいかに担保したかという説明が占めることとなります。

グローバル補助金の『成果の持続可能性』を正しく理解する

当地区財団委員会は、全世界で新しい補助金モデルを導入した2013-14年度から、クラブのグローバル補助金申請のサポートをしてきました。申請クラブとともに補助金承認に必要な要素について研究し、資料などを参考にしながらグローバル補助金活用を推進してきた結果、現在当地区は人道的国際奉仕の承認件数は日本一だと思えます。

プロジェクトの立案が進み、いざ申請書を作るとなるとなかなか難しい。その中でも特によくわからないという声が多く聞かれるのが「持続可能性」です。次は、プロジェクトの成果をプロジェクト完了後も長く継続するためのヒントを当地区の経験から述べてみます。

前述のように、グローバル補助金の「成果の持続可能性」は財団の定める要件です。ロータリアンが貧困地域の学校に教科書を寄贈し、教科書さえあれば子供が勉強できるようになり、また新しい子供が入学してきてもまたこの教科書で勉強できるという環境は続く……これが「持続」だと主張するクラブがあります。教科書の寄贈は確かに継続を担保する一手段ではありますが、財団が要件とする「持続可能性」は受益社会の教育インフラの改善（教師の訓練など）です。財団補助金要件と個々のロータリアンが考える「持続可能性」を、しっかり区別して理解することも必要です。

以下は、財団の要件である「持続可能」なプロジェクトの例です。

- 学校に教科書や教育資材を提供するなら、教師の教授スキルを高める訓練を実施したり、女子に教育は不要だと考えている父兄、地域社会の住民を集めて、女子教育の重要性を訴える啓発セミナーを実施する。
- 村落に井戸を掘ったり給水設備を寄贈するなら、村落民に工事に参加してもらって所有者意識を高めたり、清潔な水がどれほど健康に必要なか、水媒体の感染症に関する教育を実施する。
- 病院に医療器材を贈呈するなら、それを扱う医療従事者の知識や治療技術を向上させたり、地域住民に食生活や公衆衛生の啓発をして、病気の予防や自宅療養のセミナーを開催する。
- 肢体不自由な人びとに車椅子を提供するなら、併せて職業研修を実施して彼らが収入を得られるようにしたり、自立を促す。

支出計画についても、提供する設備や物品が現地調達できるのであれば、これも「持続可能性」につながります。将来必要になる部品や消耗品が、現地で調達できるということは受益社会が自ら入手できるということです。さらに、保守管理や部品、消耗品のための原資を補助金プロジェクトによって生み出すことができれば、さらに継続性が高まります（例えば、過疎地をドクターカーが巡回できるようにし、わずかな治療費を徴収する、あるいは地元住民に少額の使用料を払ってもらって井戸を管理していくなど）。

はじめに実施国の役割が非常に大きいと述べましたが、このように見ると「持続可能性」を確かにするためのキーワードは、実施国の地元の自立とそのための研修や啓発にあることがわかり

ます。このような成果と持続性を正しく理解することで、プロジェクトの目的やニーズの達成が具体的に、いきいきとプロジェクトが見えてくると思えます。

最後になりましたが、グローバル申請書を財団に提出すると、必ずと言ってよいほど追加情報の要請が来ます。少ない時で2～3件、多いときには10件以上の情報を要請されます。これを見て嫌気がさしてしまうロータリアンも多いのですが、この追加情報を財団に回答するというプロセスの中で、ますますプロジェクトや活動が磨かれる、つまり「地元社会の自立＝成果の継続性」を高めていくことができます。財団が要請する質問への回答や情報には、実に多くのグローバル補助金活動のヒントや手がかりが含まれています。財団から追加情報の要請が来たら、地区内や近隣クラブにどんな情報を要求されたのかシェアしてあげてください。プロジェクトの立案に大いに役立つはずですよ。このような情報のシェアが、グローバル補助金のための大変重要なもう一つのリソースだと私は考えています。

私見も交え、私の経験からグローバル補助金承認のヒント（と思われる点）を書いてまいりましたが、皆様のプロジェクトにお役に立てるでしょうか？

【関連リンク】

- >> [ロータリーの補助金について](#)
- >> [グローバル補助金について](#)
- >> [グローバル補助金ガイド](#)
- >> [ロータリーの重点分野ガイド](#)

